



# 思いを紡ぐ 優しいあおば

あおば支援学校 学校だより 令和6年1月(第37号)

## 『命を守る』

副 校 長

佐藤 浩栄

年明け早々、「令和6年能登半島地震」があり、翌日には羽田空港での事故と続き「今年、どんな年になるのだろうか」ととても不安な気持ちになりました。

被災された方、亡くなられた方、心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。

「令和6年能登半島地震」では、津波が押し寄せ家屋が倒壊し、道路は寸断され孤立状態の箇所が数か所あり、死者数・行方不明者が多数という、大きな災害となりました。雪や雨が降るこの寒い時期での避難生活は、どれ程辛くて大変なことなのか、想像することはできたとしても、現実はずっと厳しいだろうと思います。「避難所がいっぱいで車の中で避難生活をしています、横になれるスペースがなく椅子にもたれて寝ています、着替えがないです、温かい食べ物が食べたい、暖をとるための灯油や毛布が欲しい、トイレの水が流せなくても困っています、服薬している薬がなくて困っています・・・」などニュースからは被災者の悲痛な声があがっています。あるラジオからは、情報伝達が、日本語ばかりで、海外から来られた方(移住されている方、観光客の方)には、どのように伝わっているのだろうか、という意見が寄せられ、日本語を英語に直して情報を流している局がありました。最近では、旧ツイッターで日本語での呼びかけを英語に翻訳したことが話題になりました。どのような方々が被災者されているのかを想像しながら支援内容や方法を考えなければならないことを、改めて気づかされました。

羽田空港での事故では、乗務員による対応・誘導が適切に行われたため、乗客・乗組員とも死亡者がでなかった、と報道されています。日頃の訓練がいかに大切で、命を守ることに繋がっていることを感じました。

いずれの災害・事故において、自分が当事者になるとは思ってはいません。少なくとも、私の場合は、自分が経験してきた中での危機意識で、生活しているのだと思います。なおさら、想定外の事態が起きた時、自分がどれだけの行動がとれるのだろうか、とってしまいます。

被災された地域の映像の中で、ご自身が被災されていても、病院や市役所、福祉施設で働いている方、ビニールハウスで地域の方と協力している映像が流れていました。その姿から、困っている人たちを助けなければならない、自分ができることを手伝うといった、「みんなで生きぬく＝命を守る」ために必死であることが伝わってきました。命は尊いものであることを。「自宅で起きたら、学校で起きたら」どちらだとしても、地域の中でお互いが協力し支えながらやっていかなければならないことに変わりはありません。

私たち一人ひとりが、日ごろから地域とどうかかわっていけばよいのか、地域防災がどうなっているのか、家庭の防災の備えは大丈夫なのか、確認する必要があるかと思っています。

我が家では、ペットがいるので、地域への避難は難しいと思っていますが・・・。

## 学校生活の様子

### 大谷翔平選手からの贈り物

「野球しようぜ。」

アメリカのメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から3つの野球グローブのご寄付をいただきました！今後、授業や休憩時間で子ども達が楽しむ姿が目に見えます。

大谷選手、ありがとうございました！



## 小学部A部門 1・2年生

小学部1・2年生は、毎日パワー全開！友だち大好きな7人組です。

朝の会では、自然と隣の友だちの方へ手を伸ばしたり、こっそりと二人で手をつないだりしている子もいます。

休み時間は、絵本大好き！友だちが読んでくれる本を囲んで絵本タイムが始まります。「できるかな」の絵本は動物のまねが上手になって、イラストを見ると、拍手をするように手合わせをして「あざらし」になったり、足をポンと蹴っ飛ばして「馬」になりきったりして遊んでいます。歌の絵本から音楽が流れてマイクが登場すると皆でカラオケ大会がスタート！「歩こう♪」の楽しい歌声とともに、聞いている友だちも次第に笑顔に。先生たちと身体を動かして踊ったり、毎日がお祭りのように賑やか元気いっぱいです。

## 小学部B部門 4・5年生

小学部4・5年生では、月に数回、高等部3年生の生徒の皆さんと交流学習をしています。お互いの学習を活かした活動を通じて交流し、親交を深めています。初めて交流した際は、ドキドキしていた4・5年生でしたが、回数を重ねる毎に顔見知りになり、活動にも慣れていきました。高等部の皆さんの明るい雰囲気、優しさのおかげです☆

ポッチャやモルックといった4・5年生が日頃から取り組んでいる遊びやゲームで高等部の皆さんに勝負を挑み、ハンデをもらいつつも、いい勝負をして大盛り上がりです！高等部の皆さんからは、学習発表として演劇を披露してくれています。セリフや動きをしっかりと覚えていて、さすが高等部といった内容です。4・5年生の児童に登場人物の役をもらい、演劇にも参加させていただきました。

いつもと違った人や雰囲気の中、楽しく交流でき、いつもよい刺激をもらっています！

## 中学部B部門 2年生

秋を探そう！！の授業では、夏に近いような気温と服装ではありましたが…鶴見川沿いを歩いて“柿”“すすき”“赤とんぼ”“紅葉”を見つけてiPadで写真を撮りました。

道中にはランニングしている方や、新しくオープンした団子屋さんの店主さんに、挨拶をしたり会話したりしながら交流を深めました。

集団で順番を守って歩くことも上手になってきて、歩く距離もかなり伸びてきました。このまま中学部ラストイヤーまで走り抜けましょう！！

## 車いす花壇の展示について

車いすの方でも楽しみやすい高さの花壇を、横浜市内の学校に設置する取り組みの一環で、1月11日（木）～1月17日（水）まで、あおば支援学校にも素敵な花壇が展示されました。この花壇は、みだけ台中学校との交流を通してA部門の児童生徒がアンケートに協力し、その意見も参考に作成されました。今後「GREEN&EXPO2027」で展示予定です。

とても良い香りに、子ども達も大人も癒されました！

### 【車いす花壇のポイント】

- ・花壇の什器部材は横浜市で排出した廃材を使用
- ・車いすで生活をしている方に花を身近に感じてもらう
- ・ロスフラワーの活用として、花壇で使用する花は、花屋さんで廃棄する直前のものや農家の方から購入



## TAHITI PROMOTION 株式会社タヒチプロモーション

フランス領ポリネシアにあるタヒチ島に関わる観光事業やPR事業を中心に、国内外で様々な活動を行っている企業。SDGsに関する取り組みも行っており、横浜市内の小中学校に草花を搬送し、フラワーロスの問題に取り組んでいる。2027年の国際花博の企画にも携わっていくそうです。